

環境安全委員会では、セミナーや技術研修会の開催、また様々な媒体を使って会員会社相互で情報を共有し、意識向上と協働で課題の解決に努力することを目指しています。また環境安全対策技術等を普及させることによって各社が実態に合った効率的な方法を見出すのに情報コミュニケーションは有効

● 調査報告

環境安全委員会では、年度計画を策定し、その結果の評価を行なっています。各専門部会では各種アンケート調査等を通して計画の進捗状況を把握し目標に対する達成度を会員

● 「かんきょうニュース」の発行

業団体である日本製薬団体連合会、大阪医薬品協会、東京医薬品工業協会、製薬協がインターネット及びコンピュータシステムを共同利用するPRAISE-NETで、環境安全委員会が作成発行している「かんきょうニュース」を配信しています。環境安全委員会が実施した研修会やセミナーの概要等をタイムリーに掲載しています。

● 「成果報告集」の発行

環境安全委員会の活動から得られた情報を会員会社で活用できるように、調査報告書等は幹事会で精査し速やかにPRAISE-NETに掲載する他、委員・専門委員にはe-mail配信で報告しています。これらの報告書や講演会・技術研修会資料を、1年間の成果物として取りまとめCD-Rで全会員会社に配布しています。

講演資料は、当委員会主催のセミナーや技術研修会で講演・発表を頂いた方々のご理解ご協力で掲載し出席できなかった多くの会員にも役立つ資料と考えています。成果報告集は、毎年12月に発行しています。

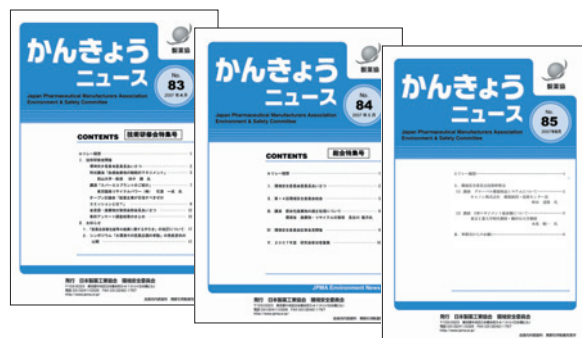


● 環境安全セミナー・技術研修会の実施

環境安全委員会では、会員会社の環境・労働安全衛生に携わる経営層や管理部門の方々に向けたセミナーを、年2回実施しています。このセミナーでは、政策や海外動向、またCSRの推進等に関わる最新の知見を共有する目的で外部講師によ

だと考えています。情報はできるだけ正確で新鮮なことも重要です。当委員会では、活動の状況や結果について可能な限り読み易くタイムリーに情報発信することにも努めています。

社にフィードバックしています。会員各社では製薬業界の活動状況がわかることでベンチマークとするなどの活用をされています。



2006年度成果報告集収載資料

第10回 省エネ・温暖化防止技術研修会講演資料
 第13回 環境安全セミナー講演資料
 製薬企業の省エネ・温暖化対策調査報告書2006年度版
 2006年度PRTR調査結果報告
 2006年度有害大気自主管理結果報告
 2006年度環境報告書の調査結果報告
 労働安全衛生マネジメントシステム導入状況調査報告
 労働災害に関する調査報告
 健康診断に関する調査報告
 営業車両に関する調査結果報告
 東大水シンポジウムでの講演要旨
 医療廃棄物製薬業界の取り組み(月刊薬事寄稿記事)

る講演を実施しています。技術研修会や研究会では、各専門部会がテーマを設定し、現場で役立つ環境技術やマネジメントツールについて研鑽を積むと共に活用を図るための情報交換や意見交換を目指して開催しています。

第13回環境安全セミナー(2006年12月)		
レポートを活用した ステークホルダー エンゲージメントの勧め	(株)みずすサステナビリティ 認証機構 井上壽枝 氏	 ステークホルダーとの双方向の関係を円滑にするための行動に向けて、 報告書にGRIG3やAA1000等の活用を提案
危機管理の基本的な姿勢	(株)電通 パブリックリレーションズ 青木浩一 氏	 内部統制とコンプライアンスによる不祥事予防、情報開示と 説明責任をキーワードとする対応について講演
技術研修会(2007年3月)		
医療廃棄物の戦略的マネジメント	岡山大学教授 田中勝 氏	 医療廃棄物処理の現状や戦略的マネジメントの考え方について講演
エコスーパープラントの紹介	東京臨海 リサイクルパワー(株) 石渡一成 氏	 PCB廃棄物処理や感染性廃棄物処理設備等を備えた スーパーエコタウンの事業紹介
環境講演会(2007年4月)		
感染性廃棄物の適正処理	環境省廃棄物・ リサイクル対策部 長谷川敬洋 氏	 感染性廃棄物の処理、廃棄物情報ガイドライン及び在宅医療廃棄物に 関しての調査結果、廃掃法の運用等の講演
技術研修会(2007年7月)		
グローバル環境保証システム	キャン(株) グローバル環境推進本部 柘田道隆 氏	 キャングループの統合環境保証システムの概要、環境目標を達成す るための制度や分析手法等を紹介
CSRマネジメント最前線	東京工業大学特任教授・ 駿河台大学教授 水尾順一 氏	 ISO26000(社会的責任規格)の発効に向けて、 今後のCSRマネジメントを攻めと守りの視点から解説
第11回省エネ技術研修会(2007年10月)		
地球温暖化対策の切り札 ヒートポンプとその活用方法 そして東京電力の取り組み	東京電力(株) 原田光朗 氏	 ヒートポンプの活用のメリットと活用事例が紹介された。ヒートポンプ 利用により、エネルギー、コスト、CO ₂ の3つのダイエットを実現できるこ とから地球温暖化対策の切り札
天然ガスにおける エネルギー動向と 高効率システムによる温暖化対策	東京ガス(株) 森永充 氏	 液体燃料から天然ガスへの燃料転換はCO ₂ 削減手段として有効。 高効率利用システム、省エネルギー診断、エネルギーサービス、 国の補助制度についても紹介
今後の省エネルギー政策について	経済産業省資源 エネルギー庁 山田哲也 氏	 規制と支援の両面から産業・業務部門、家庭部門の今後の省エネルギ ー対策について検討している施策について講演
IPCC第4次報告の概要と 今後の日本の地球温暖化対策	環境省 平岡 宏一 氏	 IPCC第4次報告の概要、我が国のこれまでの取組、GHG排出量算定・ 報告・公表制度について解説
CO ₂ 削減事例	バイエル薬品(株) 西川隆 氏	 吸収式冷凍機からターボ式冷凍機への変更によるCO ₂ 削減事例
省エネルギー事例	明治製菓(株) 坂井健一 氏	 重油からLNGに燃料転換による省エネルギーとCO ₂ 削減事例
化学プロセスの安全性評価研究会		
産業現場における爆発・ 火災災害の状況	労働安全衛生総合研究所 産業安全研究所 安藤隆之 氏	 爆発・火災災害について、発生状況、起因物質等に分類した場合の傾向、 災害事例を示し取るべき対策の基本的なポイント、及び原因となる化 学物質の危険性分類方法や評価方法の体系について講演
反応プロセスのリスク評価手法	横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授 三宅淳己 氏	 化学反応プロセスの実験室段階での反応プロセスを構成する物質の ハザード情報を基にプロセスのリスク評価手法の紹介とリスク管理の 考え方の講演